

TAKASHI MURAKAMI MONONOKE KYOTO

村上隆のものけ京都

2024年2月3日(土)～9月1日(日) FEBRUARY 3 (SAT)-SEPTEMBER 1 (SUN), 2024
京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ Kyoto City KYOCERA Museum of Art Higashiyama Cube

「村上隆 ものけ 京都」 来場者 30 万人突破！

会場：京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ 会期：2024年2月3日(土)～9月1日(日)

京都市京セラ美術館で開催中の村上隆（1962年生まれ）の個展「村上隆 ものけ 京都」が、本日7月2日に来場者30万人を突破しました。

展覧会では、同日から《村上隆版 祇園祭礼図》が新たに公開されるとともに、7月末までに合計16点もの新作が公開される予定です。

会期は残り約2ヶ月。7月は祇園祭、8月には五山送り火と大きな行事が連なる会期終盤にかけて、展示はますますパワーアップし、関連イベントや新着グッズからも目が離せません。

夏の京都を彩る祭事や風物詩と、村上隆が描き出す京都の歳時記をぜひ会場でお楽しみください。



30万人目のお客様

30万人目の来場者となったのは、韓国からお越しのチャン・ユラさん（21才）。ご家族4人でお越しくださいました。昨年、釜山で開催された村上隆個展「Murakami Zombie」をご覧になられたというチャンさん。「村上さんのお花やカラフルな作品が好き。《お花の親子》を見るのを楽しみにきました」とお話ししてくださいました。

7月2日に行われたセレモニーでは、村上隆より記念品が贈呈され、ものけフラワーとともに30万人突破をお祝いしました。

◎ 開催概要

タイトル：京都市美術館開館90周年記念展「村上隆 ものけ 京都」

英題：Kyoto City Museum of Art 90th Anniversary Exhibition

Takashi Murakami Mononoke Kyoto

会場：京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ

会期：2024年2月3日(土)～9月1日(日) ※展示作品のうち、一部に展示替えがある可能性があります

開館時間：10:00～18:00（最終入場は17:30まで）

※8/2(金)、3(土)、9(金)、10(土)、16(金)、17(土)、23(金)、

30(金)、31(土)は20:00まで開館（最終入場は19:30まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は開館）

観覧料：一般2,200円（2,000円）大学・専門学校生1,500円（1,300円）

高校生1,000円（800円）中学生以下無料

京都市在住の学生もしくは京都市内の学校に通学している学生は入場無料

※()内は前売、20人以上の団体料金

※京都市内に在住（通学）の高校生、大学生・専門学校生は、御住所が分かるもの、学生証をご持参ください。

※障害者手帳等をご提示の方は本人及び介護者1名無料（学生証、障害者手帳等確認できるものをご持参ください）

※そのほか企画チケットあり

御寄付により、「京都市美術館開館90周年記念展『村上隆 もののけ 京都』について、京都市内に在住（通学）の高校生、大学生・専門学校生の入場料が無料となりました。

対象期間：令和6年2月3日（土）～9月1日（日）

対象者：京都市内に在住（通学）の高校生、大学生・専門学校生

対象展：京都市美術館開館90周年記念展「村上隆 もののけ 京都」

※ご観覧の際は御住所が分かるもの、学生証の提示が必要です。

※中学生以下の方は在学（通学）の地域に関わらず無料でご入場いただけます。

主催：京都市、朝日新聞社、京都新聞、NHK 京都放送局、NHK エンタープライズ近畿

クリエイティブ・パートナー：ソニー・ミュージックエンタテインメント

制作協力：NHK プロモーション

特別協力：有限会社カイカイキキ、Perrotin、Gagosian

特別協賛：ルイ・ヴィトン

協賛：株式会社メルコグループ、株式会社 大丸松坂屋百貨店、株式会社公益社、

株式会社ひびき FA、株式会社中井商店、株式会社ギークピクチャーズ、Liquem

協力：AMKK 東信、花樹研究所、京都薬品工業株式会社、京阪ホールディングス株式会社、京阪電気鉄道株式会社

株式会社タカムラ産業、株式会社ブランコ、ヤマト運輸株式会社、ARTnews JAPAN、

α-STATION FM-KYOTO、ハイアット リージェンシー 京都

お問い合わせ：075-771-4334（京都市京セラ美術館）

◎村上隆プロフィール

1962年、東京都生まれ。1993年、東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。博士号取得。博士論文は「美術における『意味の無意味の意味』をめぐって」。2000年、伝統的日本美術とアニメ・マンガの平面性を接続し、日本社会の在り様にも言及した現代視覚文化の概念「スーパーフラット」を提唱した。2001年、自身が代表を務める有限会社カイカイキキを設立。2005年、「リトルボーイ展」（ジャパン・ソサエティ、ニューヨーク）にて、全米批評家連盟ベストキュレーション賞受賞。2015年、文化庁「第66回芸術選奨」文部科学大臣賞受賞。近年は、「Stepping on the Tail of a Rainbow」（ザ・ブロード、LA、2022年）、「MurakamiZombie」（釜山市立美術館、釜山、2023年）、「Understanding the New Cognitive Domain」（ガゴシアン、ル・ブルジェ、2023年）、「Takashi Murakami: Unfamiliar People – Swelling of Monetized Human Ego」（アジア美術館、サンフランシスコ、2023年）など、世界各地で個展が開催されている。



撮影：Museum of Fine Arts, Boston
©2017 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

◎**展覧会見どころや主な展示作品は、展覧会特設 Web サイトにてご確認ください。**

<https://takashimurakami-kyoto.exhibit.jp/>

公式 SNS  @mononoke_kyoto

 @takashimurakami_mononoke_kyoto

◎**本展に関するこれまでのプレスリリースは京都市京セラ美術館のウェブサイトにてご確認ください。**

<https://kyotocity-kyocera.museum/press>

本件に関するお問い合わせ：「村上隆 もののけ 京都」広報事務局（共同 PR 内 | 担当:三井）

E-mail：takashimurakami-kyoto-pr@kyodo-pr.co.jp TEL：03-6264-2382